

被災地支援活動

被災地の子どもたちを応援します!

昨年12月に多治見市社会福祉協議会が運営する児童館・児童センターは、岩手県大槌町の放課後児童クラブの子どもたちに、応援のメッセージを添えて、手作りの工作キットやゲームなどを贈りました。放課後児童クラブから35人余りの子どもたちが、冬休みに工作やマンカラゲームを楽しんだという内容のお礼状が届きました。児童館・児童センターは、今後も被災地の子どもたちが元気に過ごせるように、応援していきます。



大槌町から届いた手紙

児童館・児童センター



多治見のお元気さん

今回のお元気さんは、元気はつらつ柴田恵美子さんです。

柴田さんは、昭和3年生まれの83歳です。平成14年から滝呂老人福祉センター(サンホーム滝呂内)で習字や手芸教室などに参加されています。午前中は、ご主人のお世話をされ、午後から娯楽室でお友達と、ほぼ毎日おしゃべりしながら楽しい時間を過ごしてみえます。柴田さんは「昔は仕事が忙しく、みんなで話す暇がなかったけど、やっと今みんなで集まれるようになって、ここに来るのが生きがいだよ。」と話してくださいました。



サンホーム滝呂 滝呂老人福祉センター

障害者福祉センター 俳句コーナー

大寒に 震える子犬 身をよせて
加藤 康紀

湯豆腐や 聞き上手には まだなれず
木村 孝一

広報紙『ふれあい』の発行日の変更 4月号から毎月1日に発行します

多治見市社会福祉協議会が発行する広報紙『ふれあい』の発行日を、毎月15日から1日に変更します。また、一部、掲載する内容を見直し、充実した情報を皆様にお届けします。

社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会とは

社会福祉活動を推進する営利を目的としない民間組織です。地域住民、福祉施設・団体、関係機関とともに、地域の人々が住み慣れたまちで、安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現を目指し、さまざまな活動に取り組んでいます。これらの活動には皆様からお寄せいただく会費を活用しています。

※社会福祉法人=社会福祉事業を行うことを目的として、社会福祉法の規定により設立された法人。公共性が極めて高く、営利を目的としない民間の法人。

社協たじみ
メールマガジンの登録案内

イベント情報など、福祉に関する身近な情報を配信

登録フォーム

<http://t-syakyo.or.jp/acmailer3/form.cgi>



リサイクル紙と植物性大豆インキを使用しています。